



# 平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 ピクスタ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3416 URL <https://pixta.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古俣大介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 恩田茂穂

TEL 03-5774-2692

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,042	—	△5	—	△4	—	△15	—
28年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 29年12月期第2四半期 △19百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	△7.16	—
28年12月期第2四半期	—	—

(注)

1. 平成28年12月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 平成29年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,670	641	38.4
28年12月期	1,307	659	50.4

(参考)自己資本 29年12月期第2四半期 640百万円 28年12月期 659百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,413	37.3	48	△68.6	47	△69.7	4	△96.0	1.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1 社 (社名) Topic Images Inc.

(注)第1四半期連結会計期間からTopic Images Inc.を連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	2,231,340 株	28年12月期	2,230,740 株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	38 株	28年12月期	38 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	2,231,007 株	28年12月期2Q	2,230,255 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、短信添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気改善の一部に遅れも見られつつ、緩やかな回復基調にあります。アメリカや、中国をはじめとしたアジア新興国においても回復が見られる一方で、今後の各国の政策動向や金融資本市場の変動については引き続き留意が必要な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境としましては、スマートデバイス、スマートフォン（以下、スマホ）アプリやインターネット広告（動画広告を含む）の普及に伴い、これまで以上にインターネットでのデジタル素材の活用機会が増えております。また、近年、スマホに付属するカメラ機能の高機能化やアプリの加工技術の向上により誰もが手軽に高品質の写真撮影ができるようになり、さらに撮影したスマホ写真をインターネットに投稿・共有するスタイルが若年層を中心に定着してきました。

このような事業環境のもと、当社グループは当事業年度を「積極投資の年」と位置づけ、既存の国内事業を継続的に伸ばしつつ、昨年着手した新規事業の成長加速と新たな投資による事業機会の拡大に挑戦してまいりたいと考えております。

これに基づき、当第2四半期連結累計期間において、既存の国内事業につきましては、特に定額制販売の購入者及びクリエイターの拡大を引き続き進めてまいりました。具体的には、デジタル素材マーケットプレイス「PIXTA（ピクスタ）」において、購入者の利便性向上のため、サイト機能の改善に取り組んだほか、定額制販売における顧客層の拡大を目指し「少量定額プラン」の提供を新たに開始いたしました。クリエイターの拡大につきましては、セミナーの開催、ブログやメールマガジン等での情報提供に加え、人物専属クリエイター（注）を対象とした撮影会を実施し、自社保有素材の制作を通じて培ったノウハウを還元するなど、人物写真素材の充実に向けたクリエイター支援活動を強化いたしました。

昨年着手した新規事業のうち、出張撮影マッチングサービス「fotowa（フォトワ）」におきましては、サービス対象地域の拡大に取り組み、各地域でフォトグラファーの獲得と集客強化に注力するとともに、認知度向上の取り組みとして、メディア露出機会増加のための積極的な広報活動を展開しました。また、スマホ写真の投稿マーケットプレイス「Snapmart（スナップマート）」におきましては、画像表示の高速化やフォトコンテスト機能の一般ユーザー向け開放等、各種機能改善の施策を実施いたしました。

さらに、海外展開の一環として、3月に連結子会社化したTopic Images Inc.（以下、Topic社）と韓国語版PIXTAのローンチに向けた準備を進めるとともに、韓国ローカルコンテンツの制作に注力しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,042,294千円（うち、定額制売上は220,760千円）、営業損失は5,685千円、経常損失は4,102千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は15,974千円となりました。なお、当社グループはクリエイティブ・プラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。

（注）「PIXTA」でのみ素材の販売を行う「専属クリエイター」の中でも特に人物写真をメインに登録可能なクリエイター

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ362,756千円増加し、1,670,098千円となりました。

これは主に、現金及び預金が109,042千円、売掛金が58,423千円、のれんが161,976千円増加したことによるものであります。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ381,423千円増加し、1,028,900千円となりました。

これは主に、買掛金が54,759千円、前受金が60,224千円、1年内返済予定の長期借入金が60,008千円、長期借入金が225,824千円増加したことによるものであります。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ18,666千円減少し、641,198千円となりました。これは主に、利益剰余金が15,974千円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年2月24日の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、Topic Images Inc.の株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間末をみなし取得日として連結の範囲に含めております。

なお、同社は当社の特定子会社に該当しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	689,519	798,562
売掛金	264,294	322,717
その他	120,948	123,169
貸倒引当金	△612	△1,337
流動資産合計	1,074,150	1,243,112
固定資産		
有形固定資産	32,250	32,023
無形固定資産		
のれん	29,437	191,413
その他	64,469	86,262
無形固定資産合計	93,906	277,676
投資その他の資産	107,034	117,286
固定資産合計	233,191	426,986
資産合計	1,307,342	1,670,098
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	275,664	330,423
未払法人税等	44,948	11,759
前受金	154,306	214,550
1年内返済予定の長期借入金	-	60,008
その他	172,558	175,455
流動負債合計	647,477	792,198
固定負債		
長期借入金	-	225,824
引当金	-	7,745
その他	-	3,132
固定負債合計	-	236,702
負債合計	647,477	1,028,900
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	309,487	309,703
資本剰余金	299,487	299,703
利益剰余金	50,550	34,576
自己株式	△73	△73
株主資本合計	659,452	643,910
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	-	△3,214
その他の包括利益累計額合計	-	△3,214
新株予約権	412	502
純資産合計	659,864	641,198
負債純資産合計	1,307,342	1,670,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,042,294
売上原価	445,125
売上総利益	597,169
販売費及び一般管理費	602,854
営業損失(△)	△5,685
営業外収益	
受取利息	10
受取配当金	2,819
広告料収入	1,039
その他	38
営業外収益合計	3,908
営業外費用	
支払利息	418
為替差損	1,848
その他	58
営業外費用合計	2,325
経常損失(△)	△4,102
特別損失	
固定資産除却損	309
特別損失合計	309
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,412
法人税、住民税及び事業税	7,113
法人税等調整額	4,448
法人税等合計	11,562
四半期純損失(△)	△15,974
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,974

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△15,974
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△3,214
その他の包括利益合計	△3,214
四半期包括利益	△19,188
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,188
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,412
減価償却費	21,227
のれん償却額	7,494
固定資産除却損	309
貸倒引当金の増減額(△は減少)	421
受取利息及び受取配当金	△2,830
支払利息	418
為替差損益(△は益)	1,068
売上債権の増減額(△は増加)	△44,138
仕入債務の増減額(△は減少)	11,703
未払金の増減額(△は減少)	△13,644
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	1,189
前受金の増減額(△は減少)	59,826
その他	△3,527
小計	35,105
利息及び配当金の受取額	10
利息の支払額	△811
法人税等の支払額	△41,491
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,187
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△927
無形固定資産の取得による支出	△41,895
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△119,646
敷金及び保証金の差入による支出	△984
敷金及び保証金の回収による収入	32,861
資産除去債務の履行による支出	△7,470
その他	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,072
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△14,168
新株予約権の発行による収入	90
新株予約権の行使による株式の発行による収入	432
財務活動によるキャッシュ・フロー	286,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	△888
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	140,205
現金及び現金同等物の期首残高	728,682
現金及び現金同等物の四半期末残高	868,888

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、クリエイティブ・プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。